

辻堂 青少年愛だより

編集・発行
辻堂地区青少年
育成協力会
事務局
辻堂市民センター
TEL0466(34)8661

合同講演会

3月1日(日)に辻堂市民センターにおいて、辻堂地区の三者連携と共催し、2011年に我が国で最初にネット依存専門治療をはじめられた久里浜医療センター名誉院長の樋口進先生に、近年問題になってきている小中学生のゲーム・スマホ依存の実態と対策についてご講演いただきました。ゲーム・スマホ依存とは、ネットを使ったゲーム(特に戦闘ゲームやSNS(Twitterなど)に夢中になり、日常生活や学業、睡眠、脳の発達などに支障をきたす状態になることです。特に子どもは自己コントロールが発達途中のため、ゲームを途中でやめることがなかなかできず、大人よりゲーム依存になりやすく、また、治療も難しいということでした。



会場開催

このため、予防が重要であり、対策としては利用時間や使用場所などの利用ルールを子どもと相談して決め、更にそのルールを家族も一緒に守ることが大切だそうです。この他、塾、部活、アルバイトなどでネットのできる時間を減らす他の活動を意識的に行うことも効果があるようです。いづれにしても家族が根気強くコミュニケーションを重ね、寄り添う姿勢が大切だということでした。



YouTubeでアーカイブ配信しています

視察研修会

6月17日(火)日本赤十字社神奈川県支部へ視察研修に行きました。

赤十字社といえば、病院のイメージが強かったのですが、お話を伺いながら展示室を見学する中で、歴史がとて長く、人道支援(国内の災害時は元より海外でも救護活動)を始め、様々な活動をしていることを知り驚きました。その活動の中で献血は色々な形で使われる血液ですが、特に小児がんの治療に使われているそうで、多くの子どもたちの命が救われているそうです。

地域のため、人のために日々素晴らしい活動をしている赤十字社のことを、もっと多くの方に知ってもらいたいと思いました。



視察研修会参加時の集合写真



青少年赤十字展示物

情報交換会



情報交換会での齋間会長挨拶

7月4日(金)に辻堂市民センターで、藤沢警察署生活安全課による、夏休みに子どもが巻き込まれてしまうトラブルについての講話が行われました。

当たり前のように使用されるスマホですが、トラブルに巻き込まれないための指導や話し合いが十分でないまま与えている現状があり、大人が把握しにくい問題も多くなっています。

普段からコミュニケーションをとることが大事。子どもが不安や疑問を感じた時に相談しやすい大人でありたいと思いました。

大人の私たちも新しいことを拒まず、時には子どもに聞きながら試すことも子どもとの交流が深まる方法かもしれません。

事業報告

- みらい子どもフェスティバル少年の森(5月5日)
本会役員が参加・協力
- 定期総会(5月14日)
- 視察研修会(6月17日)
日本赤十字社神奈川県支部
- 情報交換会(7月4日)
「夏休みに向けて子どもが巻き込まれてしまうトラブルについて」
藤沢警察署 生活安全課
防犯少年課 巡查部長 根村輝明氏
- 夜間パトロール(7月26日)
辻堂諏訪神社の祭礼にあわせてパトロール
- 市民センターまつり(11月8日・9日)
・模擬店出店
・啓発物品配布
- 合同講演会(3月1日)
「小中学生のゲーム・スマホ依存健康被害も含めた実態と対策」
久里浜医療センター名誉院長 樋口 進氏
高浜地域子ども支援会議・ネットワーク湘南堂との共催
- 『青少年愛だより第37号』の発行
- 役員会 年7回開催
- 各種団体会議
学校・家庭・地域連携推進事業、辻堂砂山児童館(ぐんちよきぼあ)、辻堂児童館(つじ堂つむ)、八松子どもの家(まつぼっくり)、市民センターまつり、辻堂まちづくり会議等
- 各種街頭キャンペーン
- 藤沢市青少年育成協議会 会議 年4回

地区の校長先生のごあいさつ

「人と人との触れ合いの中で」

浜見小学校長 宇野 匡

広い空、青い海、遠くに見える江の島、そして富士山。多様な学び舎に囲まれた地域にある、本校の広い校庭とゆとりのある校舎。この素晴らしい環境の中で子どもたちと過ごす毎日を、とても幸せに感じています。

また、保護者や地域の方々には、様々な機会でも子どもたちの成長を支えて下さっていると感じています。改めて感謝致します。

人と人との関わりが希薄になつたと言われて久しい昨今、私自身は直接の触れ合い、顔の見える関係を大事にしていきたいと考えています。今後とも子どもたちへの温かいご支援を、どうぞよろしくお願致します。

「地域の皆様に愛される学校」

白浜養護学校長 宮崎 洋子

白浜養護学校に着任して一年が経ちます。本校は市内で唯一の小中高等部を設置した特別支援学校です。

お陰様で子ども達は、地域の皆様を始め多くの方々にも愛され、学習や様々な活動に日々取り組んでいます。日々の温かい見守りと優しいお声かけには感謝の気持ちでいっぱい입니다。本校の外部壁面にある美しいレリーフには「生命の誕生を賛歌する」という思いが込められています。

来年度は本校もコミュニティ・スクールになります。地域の皆様とともに子ども達の現在と未来を支え、逞しく成長する姿を見守って参りたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願致します。

第48回 辻堂市民センターまつり

「出会いふれあい潮風のまち」をテーマとした「辻堂市民センターまつり」は11月8日(土) 9日(日)に行われました。当会もポップコーン・わたがし・やきいも・ポップコーン・わたがしのコーナーでは、不思議そうに機械を見つめている子、忙しく働いている大人を見ている子、お金を握りしめ買い物体験する子と見守る大人たちの姿。ここでも、地域で子育てする大切さを知りました。

従事していただいた皆様、お買い上げくださった皆様、ありがとうございました。売上金は、講演会・情報交換会など青少年健全育成活動推進のために使わせていただきます。



ポップコーンコーナー



やきいも、わたがし、ポップコーン 今年も大盛況でした!



わたがしコーナー

例 大 祭 夜間パトロール

7月26日(土)夜、例大祭で賑わう諏訪神社周辺のパトロールを行いました。

この例大祭は、地域の子もたちがとても楽しみにしている夏の風物詩で、夏休みに入ったことを実感するイベントとなっています。

例年、多くの人で賑わうお祭りですが、かつては周辺の交通整理や自転車置き場の確保等、非常に大変な状態になっていました。地域のみならずのおかげで、ここ数年は大きな混乱も少なくなり、よりお祭りを楽しむことができるようになりました。

これからも地域のつながりを大切に、住みよい辻堂にしていきたいと改めて感じるパトロールとなりました。



委員による夜間パトロール



青少年指導員 活動報告

青少年指導員は、青少年の非行防止推進を目的としたパトロール等を行う「街頭指導部」と、工作・伝承事業等の体験活動を通して青少年の健全育成に取り組んでいる「育成部」で成り立っています。

パトロールは、揃いの青いジャンパーを着て、不審者情報や危険箇所等考慮しつつ、月に2回、通学路や公園を中心に子どもたちの様子を観察しながら声かけをおこなっています。

体験活動については、今年度も感染や安全に気を配りながら開催することができました。どの行事も参加した子どもたちは元気で楽しんでいました。

今年度の主な活動

- 「夏の工作教室」
- 「芋ほり」
- 「クリスマスマスのつどい」
- 「鏡びらき」
- 月2回のパトロール

また、辻堂青少年会館(つじせい)・辻堂砂山児童館(つじやま)・辻堂児童館(つじどうむ)・八松子ども家(まつぼっくり)の運営委員としても活動しました。



青ジャンパーでがんばります